【対面】福祉の魅力を体験＆発信！

車椅子や機械浴の体験、介護食の試食、衣類の着脱支援、移乗支援、レクリエーションへの参加などを通して、福祉のお仕事を「介護する側」と「介護される側」の両方の立場から体験していただきました。それらの現場体験を通して、参加者の目線で感じた『福祉の魅力』をそれぞれの言葉でまとめていただき、法人 SNS（Instagram）で発信しました。

👇過去の参加者が感じた『福祉の魅力』はこちら👇

今回の体験で印象に残ったことは、福祉はお世話をすることではないということです。手足が自由に動かせなかったり、言葉がうまく出てこないといった障害のある方々にこそ伝えたい思いが強くあると感じました。利用者様とのコミュニケーションの中から、嬉しさや感情を読み取り、できることを増やしていくような支援が大切であると学びました。（大学 3 年／福祉系以外）

福祉の魅力は、長い時間をかけて利用者の方と信頼関係を築きながら関わり合っていけること、また、利用者の人生に寄り添いながら支援を展開できることであると感じました。現在、社会福祉士を目指して勉強していますが、今回の体験を通して、利用者に「ここに入ってよかった」と思ってもらえるように関わりができる専門職になりたいと改めて感じました。（大学 3 年／福祉系学部）

利用者とお話をする中で、戦争や昔の暮らしなど私が経験したことのない貴重な体験談や思い出話を生で聞くことができるという点に大きな魅力を感じました。利用者様が若い私たちとお話することに心から喜びを感じ、楽しんでくださり、私自身も高齢者の方と接する楽しさを感じることができました。（大学 3 年／福祉系学部）